



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料

平成25年 9月30日

配布日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

高梁川水系小田川付替事業の環境影響評価 評価書(案)の内容について専門家のご意見を伺います。 ～第7回小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会を開催～

国土交通省中国地方整備局では、高梁川水系河川整備計画に位置付けられた小田川付替事業について、環境影響評価の手続きを進めています。環境影響評価に当たっては、事業特性、地域特性を踏まえ、最新の科学的知見に基づき適切に実施するために専門家に技術的助言を求める『小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会』を設置しています。(平成23年8月31日設立)

今般、評価書作成に向けて、準備書に対して知事から述べられた意見への事業者見解、及び環境省レッドリストの改訂を受けて実施した追加種の予測評価・実施結果について、技術的助言をいただくため、第7回の委員会を下記のとおり開催することとしましたのでお知らせします。

記

◆第7回 小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会

- 議題：1. 小田川付替事業環境影響評価手続の概略スケジュール
2. 岡山県知事意見に対する事業者見解について
3. 環境省レッドリスト改訂による追加種の予測評価・実施結果について

日時：平成25年10月4日(金) 10:00～11:30(9:45開場)

場所：倉敷市民会館 2階 大会議室

倉敷市本町17番1号 TEL086-425-1515

※委員会は公開ですが、傍聴者席の座席数に限りがあり先着順となりますのでご了承ください。なお、動植物の保全の観点から、一部、委員のみ配布する資料がございます。また、報道等のカメラ撮りは冒頭のみ(議事開始まで)といたします。

◆添付資料

- 別紙1 委員名簿
別紙2 小田川付替事業の概要
参考 委員会会場位置図

※ 評価書とは

環境影響評価を実施した結果をまとめた準備書について、知事等から述べられた意見を勘案して記載事項に検討を加えたもの。

(問合せ先)

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 電話番号(086)223-5101(代表)

副 所 長 川島 明昌(かわしま あきまさ) (内線205)

事業対策官 大木 孝志(おおき たかし) (内線208)

小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会 委員名簿

氏 名	所属・役職	担当分野
うちだ かずこ 内田 和子	岡山大学 名誉教授	景観、人と自然との触れ合いの活動の場
おくしま ゆういち 奥島 雄一	倉敷市立自然史博物館 学芸員	陸上昆虫類
[委員長] かわら おさみ 河原 長美	岡山大学 名誉教授	水質、底生動物、廃棄物等
ささおか えいじ 笹岡 英司	岡山大学 名誉教授	大気質、騒音、振動
さとう くにやす 佐藤 國康	元川崎医科大学 教授	哺乳類、爬虫類、両生類、魚類
[副委員長] にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	地下水、地形及び地質、地盤沈下
はだ よしお 波田 善夫	岡山理科大学 学長	植物
まるやま けんじ 丸山 健司	日本野鳥の会 岡山県支部 支部長	鳥類

(敬称略 五十音順)

高梁川水系 小田川付替事業の概要

別紙2

■事業の目的

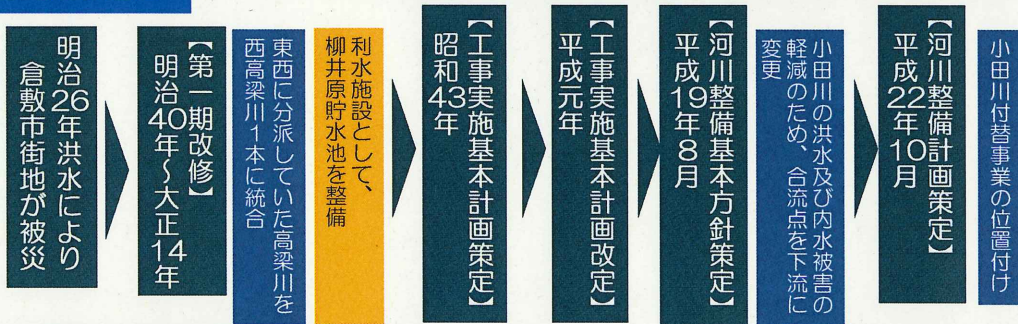


小田川付替事業は、高梁川の支川である小田川について高梁川と合流する位置を約4.6km下流に付替えます。人口、資産が集中する倉敷市街地区間に接する高梁川酒津地先の洪水時の水位を低下して、水害のリスクを低減します。また、過去幾多の甚大な被害が生じている小田川合流点付近の洪水時の水位低下を図ります。



小田川合流点付替え位置図

■治水事業の経緯



【第一期改修】明治40年~大正14年



【第一期改修着手前 (明治40年)】



【第一期改修完成後 (大正14年)】



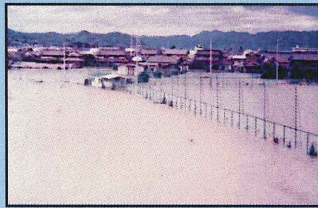
昭和22年当時の柳井原貯水池

※国土院資料 (米軍撮影写真) に加筆

■治水に関する現状と課題

既往洪水による被害

■昭和47年7月洪水、昭和51年9月洪水等に小田川において内水はん濫及び堤防決壊によるはん濫が発生しています。



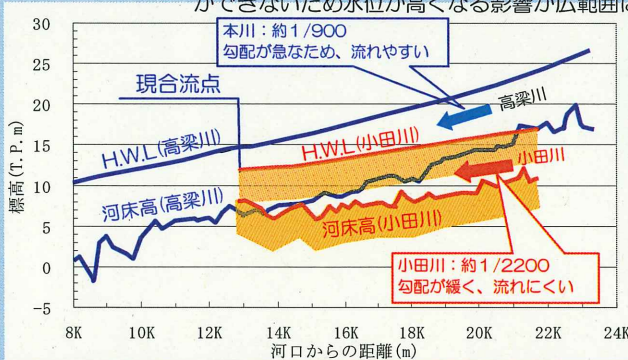
S51.9洪水の氾濫状況



S47.7洪水, S51.9洪水の実績浸水区域図

治水の課題

■現在の小田川は、洪水時に高梁川の合流点水位が高いことから、高梁川の河川水位が回り込み、水の流れが阻害され、小田川の水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。また、小田川の河床勾配は、高梁川に比べても緩く、洪水をスムーズに流すことができないため水位が高くなる影響が広範囲に及びます。



背水影響による内水・外水に対する安全度を向上させるため、小田川の水位を下げる必要があります。

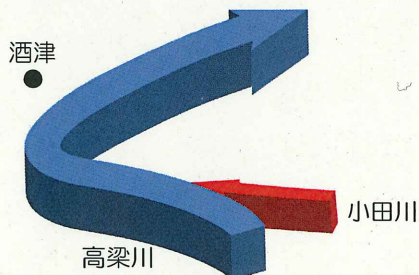


倉敷市街地の洪水に対する安全度を向上させるために酒津の水位を下げる必要があります。

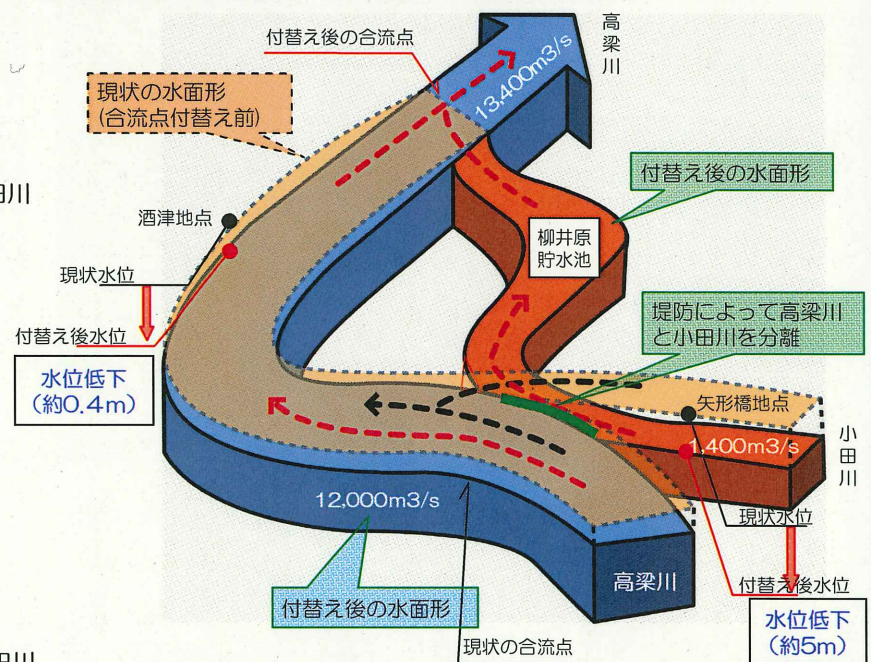
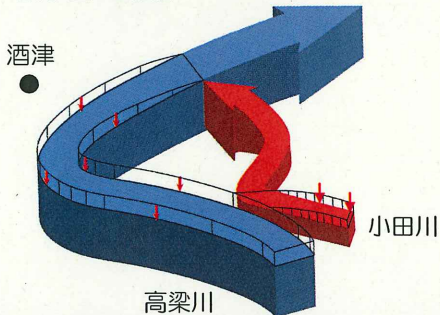
■小田川付替事業の効果

- ◆高梁川酒津地点の水位の低下が見込まれ、倉敷市街地の洪水に対する安全度が向上します。
- ◆小田川の洪水時の河川水位の全体的な低下が見込まれ、越水や堤防決壊の危険性が軽減されます。
- ◆小田川の洪水時の河川水位が居住地側の地盤高や排水門の敷高を上回る時間が短くなるため、内水被害が軽減されます。

【現状】



【付替え後】



小田川合流点付替えによる水位低下効果のイメージ

※計画雨が生じた場合の高梁川及び小田川の流量

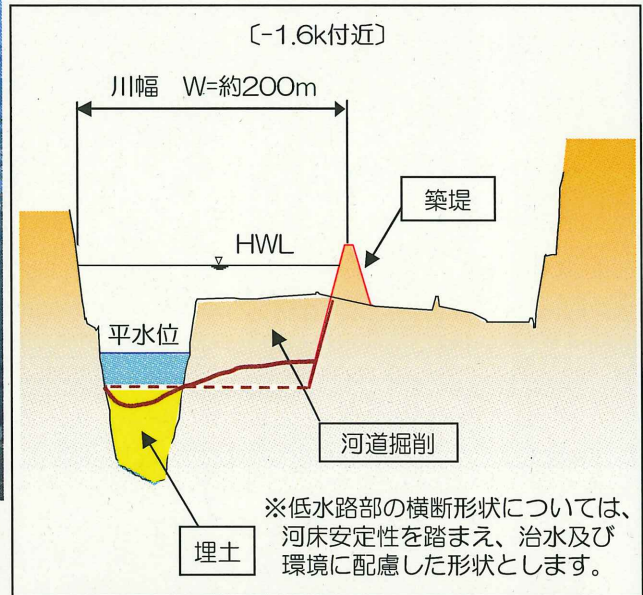
■付替え河道の諸元及び標準断面図



<付替え河道の諸元>

延 長	L=3.4km
計画高水流量	2,300m ³ /秒
代表川幅	W=約200m

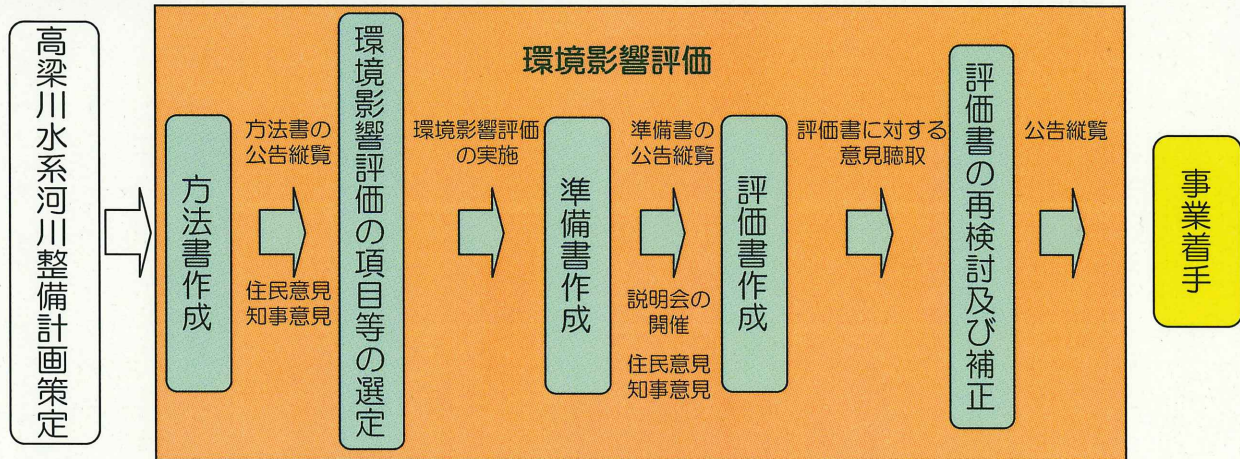
<標準断面図>



■小田川付替事業周辺の状況



■小田川付替事業のスケジュール



■小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会

小田川付替事業の実施にあたり、環境影響評価法に基づく環境影響評価を実施します。

実施にあたっては、小田川付替事業の事業特性、地域特性を踏まえ、最新の科学的知見に基づく適切な環境影響評価を実施するために専門家で構成される委員会を設立し、環境影響評価の手続きにかかる各段階において技術的助言を求めるとしてあります。

委員名簿

氏名	所属・役職	担当分野
うちだ かずこ 内田 和子	岡山大学 名誉教授	景観、人と自然との 触れ合いの活動の場
おくしまゆういち 奥島 雄一	倉敷市立自然史博物館 学芸員	陸上昆虫類
かわら おさみ 河原 長美	岡山大学 名誉教授	水質、底生動物、 廃棄物等
ささおかえいじ 笹岡 英司	岡山大学 名誉教授	大気質、騒音、振動
さとう くにやす 佐藤 國康	元川崎医科大学 教授	哺乳類、爬虫類、 両生類、魚類
にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	地下水、地形及び地 質、地盤沈下
はだ よしお 波田 善夫	岡山理科大学 学長	植物
まるやま けんじ 丸山 健司	日本野鳥の会 岡山県支部 支部長	鳥類

(敬称略 五十音順)

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 小田川付替推進室
〒700-0914 岡山市北区鹿田町2丁目4番36号
TEL (086)223-5189 (河川環境課直通)
FAX (086)234-2298 (調査設計課直通)
URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

平成25年4月

<参考>

- 「第7回小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会」会場
倉敷市民会館アクセス
(倉敷市民会館ホームページより)



●JR 倉敷駅から

- ・徒歩で20分
- ・バス:児島方面行き天城経由で「市民会館前」下車すぐ
茶屋町イオンモール倉敷線「東町」下車
- ・タクシーで5分

●JR 茶屋町駅から

- ・バス:茶屋町イオンモール倉敷線「羽島」下車
バスの進行方向に歩いて羽島交差点を渡り左折し進んで右手
- ・タクシーで15分

●倉敷IC(山陽自動車道)から車で15分

●早島IC(瀬戸中央自動車道)から車で15分

※所要時間は目安です。交通状況などにより変わってきますのでご了承ください。